

# 金融と日本銀行

現代社会

憲法

政治

経済

国際社会

これから

今日の問い

金融はどんなしくみで、日本銀行はどんな役割を果たしているのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

## 1 金融のしくみ

銀行・利子

きんゆう  
金融

お金に余裕のある人から、必要な人へお金を融通すること。

りし  
利子

お金を借りた人が貸した人に払う対価。利息とも。

かんせつきんゆう  
間接金融

銀行などを通して資金をやりとりする方法。

家計や企業のなかには、使わずにお金が余っている人もいれば、事業を広げるためにお金が足りない人もいる。お金に余裕のある人から必要な人へお金を融通することを**金融**という。金融を行う機関を金融機関といい、その中心が**銀行**である。家計は将来にそなえて貯蓄をし、企業は工場や店をつくるために借入れをする。銀行は、その橋わたしの役をしている。

銀行は、人々から**預金**としてお金を預かり、それを企業や個人に貸し出す。預金をした人には**利子**(利息)を払い、貸し出した相手からは、それより高い利子を受け取る。この差が銀行の収入のおもな部分になる。銀行などを通して資金をやりとりする方法を**間接金融**といい、企業が株式や債券を発行して、直接、資金を集める方法を直接金融という。銀行は、お金を預ける人の安全も守る必要があり、預金は一定の額まで保護されている。また、元金に対する利子の割合を金利(利子率)といい、金利が高いと借りる人は減り、低いと借りる人は増えやすい。住宅ローンのように、長い期間に分けて返す貸し出しも多い。



## 2 日本銀行の役割

中央銀行

にほんぎんこう  
日本銀行

日本の中央銀行。景気や物価の安定をはかる。

はっけんぎんこう  
発券銀行

日本銀行券(紙幣)を発行する役割。

ぶっかのあてい  
物価の安定

日本銀行が目標とする、物価が大きく動かない状態。

**日本銀行**は日本の**中央銀行**で、一般の銀行とはちがう三つの役割をもつ。第一に、日本銀行券(紙幣)を発行する**発券銀行**である。第二に、国の資金である税金などを預かって出し入れする「政府の銀行」である。第三に、一般の銀行に資金を貸したり預金を受け入れたりする「銀行の銀行」である。

日本銀行は、景気の変動をやわらげ、**物価の安定**をはかるために、世の中に出まわるお金の量を調節している。これを金融政策という。また、日本銀行は、金融機関が資金不足におちいつて経済が混乱しないよう、いざというときに資金を貸し出す役割も担っている。

### 問いへの答え

金融は、お金に余裕のある人から必要な人へお金を融通するしくみで、銀行は預金を集めて貸し出し、預金者への利子より高い利子を借り手から受け取る。日本銀行は中央銀行で、紙幣を発行する発券銀行、政府の銀行、銀行の銀行という役割をもち、お金の量を調節して物価の安定をはかる。

次は ノート で、下線に語句を書きながら確かめよう →

